

株式会社 **妙徳**

2016年12月期 決算説明会

2017年2月17日

目次

1 2016年12月期決算概要

2 2017年12月期業績予想、株主還元

3 成長方針と戦略

2016年12月期業績

売上高 2,251百万円 前期比▲193百万円 計画比▲53百万円

売上高減少の影響を補いきれず最終利益 計画比▲24百万円

(百万円)

	2015年 実績	2016年 業績予想	2016年 実績	増減率(%)	
				前期比	計画比
売上高	2,444	2,304	2,251	▲7.9	▲2.3
売上総利益 (売上総利益率)	1,490 61.0%	1,306 56.7%	1,240 55.1%	▲16.8	▲5.0
販売費及び一般管理費	1,054	1,000	970	▲8.0	▲3.0
営業利益	435	305	270	▲38.0	▲11.6
経常利益 (経常利益率)	446 18.3%	317 13.8%	284 12.6%	▲36.3	▲10.4
税引前当期純利益	350	318	281	▲19.5	▲11.5
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	244 8.7%	211 9.2%	186 8.3%	▲23.6	▲11.8
1株当たり当期純利益	33円19銭	28円95銭	25円55銭	▲7円64銭	▲3円40銭

CONVUM

2

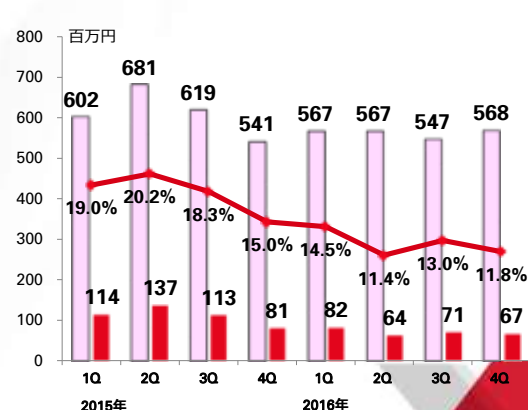
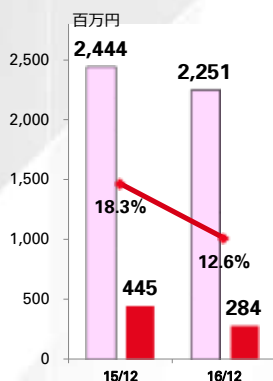
連結売上高、経常利益推移

前期比

四半期推移

売上高 経常利益 経常利益率

売上高 経常利益 経常利益率



CONVUM

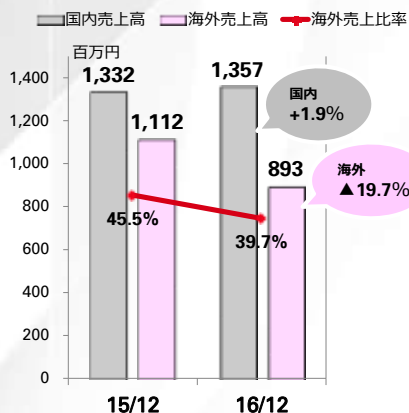
3

地域別売上高

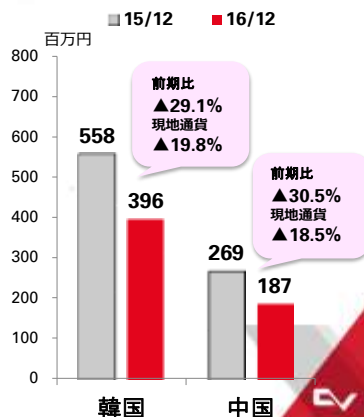
国内売上高 1,357百万円 前期比+1.9%

海外 韓国・中国市場での市場減速による減収

国内/海外別売上高



海外売上高 内訳



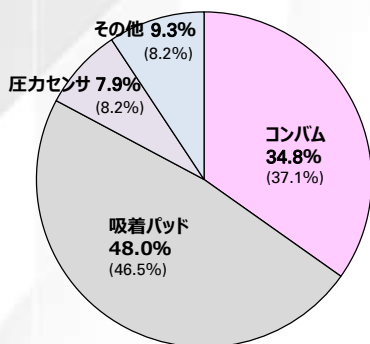
4

製品群別売上高

主力 コンバム(真空発生器)、吸着パッドで80%超の売上高

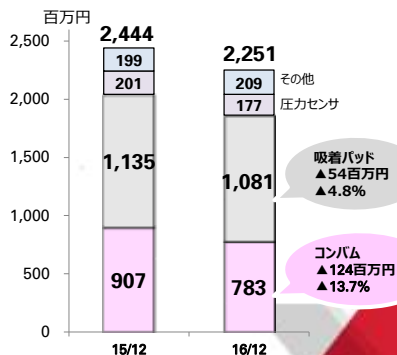
韓国・中国市場でのコンバム新規装置採用苦戦

製品群別売上高構成比



()内は、前年同期 売上構成比

製品群別売上高推移

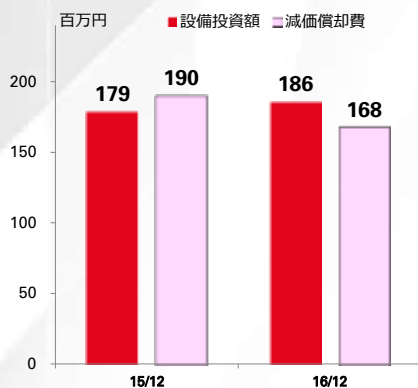


5

設備投資、減価償却費

■ 基幹システム刷新投資 継続

■ 新製品開発・品質改善投資



16年の主な設備投資内容

基幹システム	54百万円
機械装置関連	34百万円
製品金型	24百万円
測定工具器具関連	19百万円
自動機関連投資	10百万円

奥)ワイヤー放電加工機
手前)型彫放電加工機



レーザーマーキング装置



CV CONVUM

6

連結財務状況

(単位：百万円)

連結貸借対照表

	2015年 12月期末	2016年12月期末	
			前年比
流動資産	1,890	1,989	+99
固定資産	2,235	2,249	+14
資産合計	4,125	4,239	+113
流動負債	254	265	+11
固定負債	150	154	+4
負債合計	404	419	+15
純資産合計	3,721	3,819	+98
負債・純資産合計	4,125	4,239	+113
自己資本比率	89.8%	89.6%	▲0.2pt

連結キャッシュフロー計算書

	2015年 累計	2016年 累計
営業キャッシュフロー	318	475
投資キャッシュフロー	▲98	▲127
財務キャッシュフロー	▲99	▲66
現金及び現金同等物の 増減額	110	274
現金及び現金同等物の 期首残高	624	735
現金及び現金同等物の 期末残高	735	1,010

CV CONVUM

7

目次

1 2016年12月期決算概要

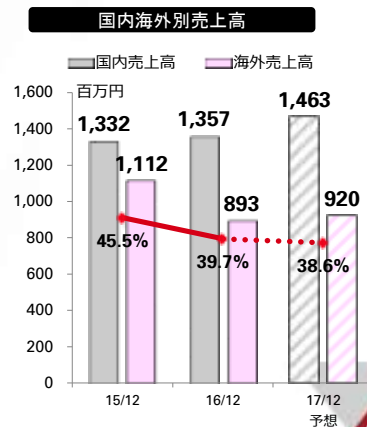
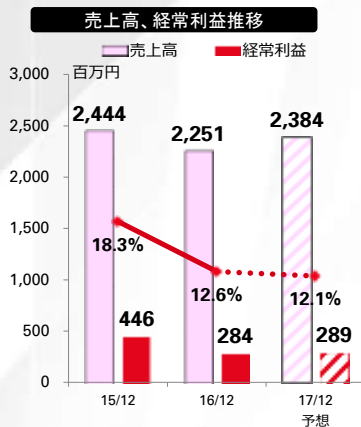
2 2017年12月期業績予想、株主還元

3 成長方針と戦略

2017年12月期業績予測

国内向けは 新製品の新規装置採用などによる増収見込み

海外は 依然厳しい状況継続も 増収を見込む



2017年12月期業績予測

研究開発・技術・人材に積極的な投資を行う

国内海外展示会 積極出展の継続

(単位：百万円)

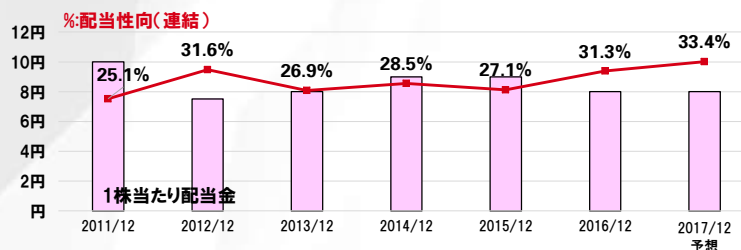
	2015年 実績	2016年 実績	2017年 予想	前期比	
				増減額	増減率 (%)
売上高	2,444	2,251	2,384	132	5.9
営業利益 (営業利益率)	435 17.8%	270 12.0%	276 11.6%	6	2.2
経常利益 (経常利益率)	446 18.3%	284 12.6%	285 12.0%	0	0.3
税引前当期純利益	350	281	285	3	1.2
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	244 10.0%	186 8.3%	175 7.4%	▲11	▲5.9
1株当たり当期純利益	33円19銭	25円55銭	23円98銭	▲1.57円	▲6.1

CONVUM

10

株主還元

安定的、長期的な利益還元の実施を目標とする



	2011年 12月期	2012年 12月期	2013年 12月期	2014年 12月期	2015年 12月期	2016年 12月期	2017年12月期 (予想)
中間配当	5.0円	4.0円	3.5円	5.0円	3.5円	4.0円	4.0円
期末配当	5.0円	3.5円	4.5円	4.0円	5.5円	4.0円	4.0円
年間配当	10.0円	7.5円	8.0円	9.0円	9.0円	8.0円	8.0円
1株当たり 当期純利益	39円78銭	23円74銭	29円75銭	31円54銭	33円19銭	25円55銭	23円98銭
配当性向	25.1%	31.6%	26.9%	28.5%	27.1%	31.3%	33.4%

※2014年12月期は配当は、記念配当1.0円を含む
(中間配当0.50円、期末配当0.50円)

CONVUM

11

目次

1 2016年12月期決算概要

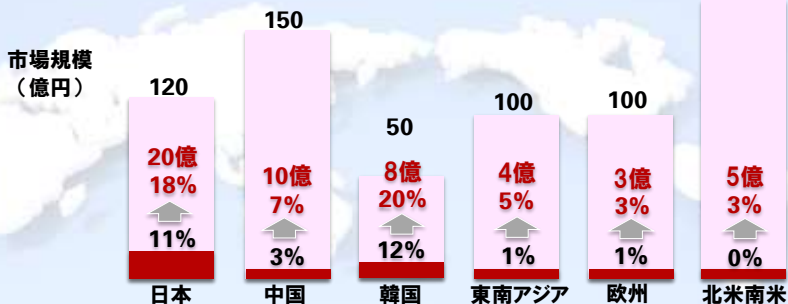
2 2017年12月期業績予想、株主還元

3 成長方針と戦略

成長方針と戦略

「スローガン「コンバム パッド ナンバー1」の実現に向け、当社の特長・強みをさらに強化

世界真空機器市場シェアと長期目標(当社推計)



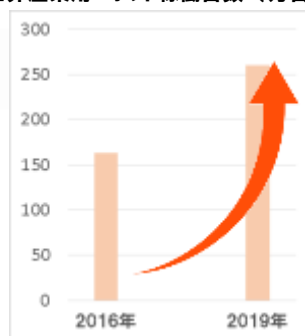
世界全体を捉えた営業戦略を展開
国内と海外・グループ間の連携強化

成長方針と戦略

I 産業用ロボット市場の拡大 → 真空機器市場の拡大

「インダストリー・4」「IoT」「ファクトリー・オートメーション」といった未来の製造業の鍵となる産業用ロボットの市場は益々拡大

世界産業用ロボット需要金額（兆円） 世界産業用ロボット稼働台数（万台）



※※Markets & Marketsおよび国際ロボット連盟（IFR）調査

CONVUM

14

製品開発戦略

1 業種・用途・地域別 製品ラインナップの拡充

各業種、地域、市場のニーズ（性能・品質・価格etc）にあわせた製品ラインナップの拡充をおこなう

CONVUM

15

2 新コンセプトコンバムの開発

従来のコンバムとは異なるハイエンドコンバムを開発
機能面（仕様・デザイン）で業界トップレベルの性能を
詰め込んだ新モデルエジェクタを2年計画で開発中
主要部品は全て自社開発、IoTなど周辺機器との通信対応

3 新素材吸着パッド 製品ラインナップの拡充

新素材吸着パッド、高付加価値の吸着パッドの開発推進

- ・ エラストマ樹脂製 パッド（高耐久性）
- ・ 有機EL、液晶製造向け素材パッド（静電対策）
- ・ 超ハイテン材ホットスタンプ対応パッド（高耐熱性）

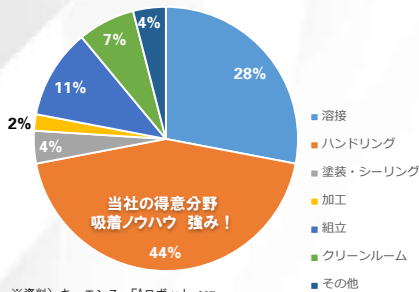
新製品開発と並行し、基礎研究の拡充強化

製品開発戦略

4 ロボット向けハンド製品拡充

成長・拡大する世界ロボット需要に対し、
当社の蓄積された吸着搬送ノウハウを活かしたハンド製品を拡充し
ロボットの手（指）を提供することで売上拡大を図る

産業用ロボット 用途別 構成



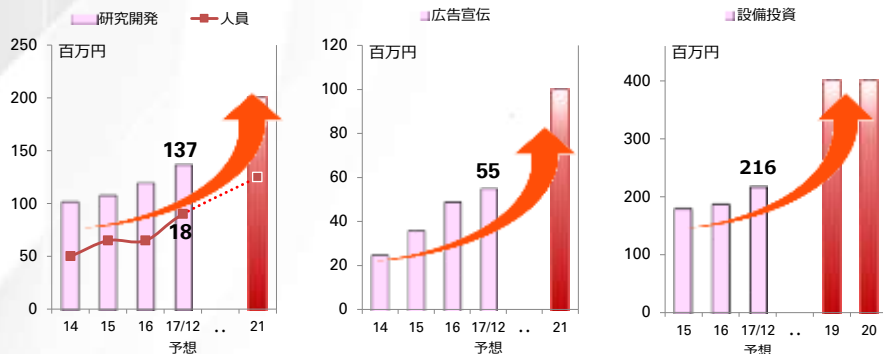
2017国際ロボット展へ
ロボットメーカーと協同出展



成長戦略

5 開発・販売・生産体制の増強

研究開発投資拡大(人員含む)
積極的な広告宣伝活動の継続
岩手事業所の拡張・設備増強



トピックス

NHK総合TV「超絶! 凄ワザ」に出演しました



開発した吸着パッド

「超絶 凄ワザ!」とは、「高い水準を誇る日本のものづくり。その技術力の極限は、どこまで高めることができるのか?」をテーマとし、これまでにない超絶品質の「腕試し」の作品に挑戦、厳格な基準をクリアするまでをドキュメントした、日本のものづくりの底力・奥深さを伝える番組です。

真空機器のパイオニアメーカーとして、当社に撮影協力の依頼があり、「リアルスパイダーマンを目指せ! 究極の真空吸着対決」と題した今回の番組に出演。

人が天井にぶら下がり、雲梯の様に進むことの出来る装置の開発に挑みました。当社および対戦相手の2チームが、ぶら下がる人の重さや、天井の材質を変えたステージをどちらが多くクリアできるか競いました。

番組は、2016年12月10日(土)、17日(土)の2週にわたって放送され、無事、当社は勝利することができました。

放送後には数多くの反響を頂き、番組内で製作した吸着ハンドの引き合いも多数いただいております。番組での挑戦を通じて得た経験を、今後の製品開発に活かしてまいります。

会社概要

(2016.12.31)

会社名	株式会社 妙徳 (英語表記: Myotoku Ltd.)
創立(設立)	1951年4月16日
本社所在地	東京都大田区下丸子2-6-18
代表者	代表取締役社長 伊勢 幸治
資本金	7億4,812万5千円
国内拠点	岩手、東京、名古屋、大阪、福岡
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備(上海)有限公司 上海、深セン、重慶 CONVUM KOREA LTD. ソウル、釜山、天安 CONVUM (THAILAND) Co.,Ltd. バンコク CONVUM USA,INC. カリフォルニア州ラ・ベンテ市
連結従業員数	117名(単体81名)
発行済株式数	8,285,000株(うち自己株式974,613株)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場 証券コード: 6265

CONVUMって何？

CONVUM[®] **コンバム** とは **コン**プレッサからの圧縮空気
で **バ**キュー **ム** (真空) を発生させることをイメージして
創りだした造語です。

CONVUM[®] は当社の登録商標です。

当社製品の使用事例



自動車フロントガラスの吸着



電子部品・半導体部品の実装



ロボットを利用した吸着搬送



主に各種製造工場、各種自動化装置において、
対象物を吸着固定・吸着搬送するための把持装置として
使用されています。

お問合せ先

IR統括責任者

代表取締役社長 伊勢 幸治

お問合せ先

取締役執行役員経営企画担当

泉 陽一

TEL: 03-3759-1491 / E-mail: info@convum.co.jp

HPでは会社情報を随時更新しております

URL: www.convum.co.jp

株式会社 **妙徳**

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。
当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。